

経営支援員 と 二人三脚



特別編として京都府事業承継・引継ぎ支援センターで取り組んだ支援事例をご紹介します。

創業者の思いと 手づくりの味わいを添えて 親族へバトンタッチ

事業承継を通して
経営ビジョンを明確にする

創業40年近く、二代目店主の

高山久子さんは「先代からの暖簾を守りたい」という思いで喫茶店を切り盛りしてきました。そんな母親のひたむきな姿を子どもの頃から見てきた娘の西口貴帆さんは、2階スペースでペットサロンを営む傍ら、喫茶店も手伝い、二人三脚で支えてきました。が、「母親が高齢となり、喫茶店をどういう形で継承していくか不安になっていました」と話します。

新たなカフェ事業の在り方を模索する中、京都商工会議所洛南ビジネスサポートデスクの経営支援員から「将来のバトンタッチを含め、経営ビジョンや事業プランを見直してみても」と提案を受け、「京都府事業承継・引継ぎ支援センター」の青野サブマネージャー

を中心に関係機関のサポートを受けることになりました。

目の前の課題を見直し
事業価値の磨き上げを目指す

「事業承継計画の策定を通して、いつ、どんなタイミングでバトンタッチをしたいのか、母の考えや気持ちを理解できました」と貴帆さん。3年後の事業承継を目標に、まずは目の前の経営課題と向き合い、強みや弱みを整理することから始めました。例えば、豊富なメニューは強みと考えていましたが、毎月の収支管理をした結果、「注文が少ないメニューも多く、材料の無駄が分かりました」と振り返ります。

そこで、メニュー内容や価格の見直し、SNSでの情報発信等に取り組むほか、弁護士でもある青野サブマネージャーから登記や

相続等の法的な手続きについてアドバイスを受けました。「困り事に応じて、ワンストップで相談できるのが魅力です」と久子さんは語ります。

ペットの専門知識を活かし
人と動物が楽しめるカフェ展開

トリマーでもあり愛玩動物飼養管理士でもある貴帆さんは、補助金を活用して改装した2階にドッグカフェを併設し、人とペットが分け隔てなく楽しめる居心地の良い店づくりを目指しています。また、外国人観光客や留学生のニーズに応え、食べ応えのあるダブルハンバーガー等の新メニューにも取り組んでいます。

「新しい感覚を取り入れた経営に期待しています」と久子さん。長年愛されてきた店の暖簾は、次代へと受け継がれていきます。



トリミングの技術も活かしながら、2階スペースではペットサロンとドッグカフェを併設する等、居心地よい店づくりを目指します。



事業承継のご相談は
京都府事業承継・引継ぎ
支援センターまで！

Café&Lunch絵慕

京都市伏見区深草直達橋4-374-4
☎075-643-4103